



Do you like

# some more ENGLISH?



## 英語はどこで生まれ、どう育った？①

英語はどここの国の言葉でしょうか？



**アメリカ!**



**何言ってるの、イギリスでしょ!**



さて、どうでしょう？ 現在、英語を母国語とする国、あるいは公用語などの主要言語とする国は、イギリス、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、カナダをはじめ、南アフリカ、ジャマイカ、シンガポール、フィリピンなど約 72 か国に及びます。また、現代英語を理解し、使用する人口は、世界で 17 億人とされています。



**へ~今の世界人口が約 70 億だから、ほぼ 25 パーセントの人が英語を話すってことだね。**



**でも、これだけ世界中に広まった英語が生まれたのはどこなのかしら？**

英語という言葉が生まれたのは、ヨーロッパの北西にあるブリテン島という小さな島です。紀元前 55 年にジュリアス・シーザーがこの島に侵攻し、紀元 43 年ローマ皇帝クラウディウスによって、ブリテン島の大部分が占領されました。ローマ人たちが来る前のブリテン島は、紀元前 750 年ごろから 200 年にかけて、大陸から海を渡ってきたケルト人が移住しており、ローマの人たちがこの先住民族の一派であるブリトン人にちなんで、ブリタニアと呼んだのが「ブリテン島」の呼称の始まりです。



でもこのときはまだ英語は生まれていません。

さて、ローマ帝国の栄光に陰りがみえたころから、英語の歴史が始動しはじめます。紀元 395 年にローマ帝国東西に分裂します。このころから、ゲルマン民族の大移動が始まり、476 年には西ローマ帝国が滅亡。ブリテン島に駐留していたローマ軍は 410 年には完全撤退していました。一方で、5 世紀半ばから 6 世紀にかけて、ゲルマン系の人々（ジュート人、アングル人、サクソン人）が大陸からブリテン島に渡来し、先住民のケルト人を圧倒して定住します。これらのゲルマン系部族で、9 世紀までに 7 王国を設立しますが、**このときに持ち込まれた言語が英語の元となります。**そして、部族の中でも有力だったアングル人の名にちなんで、この土地をローマは「アングル人の土地」を意味する“アングリア”と呼び、ここからアングリア→イングランドとなります。

5 世紀~11 世紀中頃に、使われていた言語を古英語 (Old English) と言いますが、初期の古英語時代の、語彙はおよそ 1 万語程度だったと推定されています。そのほとんどが具体的で直接的な言葉でした。現在使われている英語のなかで、もっとも頻繁にみられる 100 の単語のほぼすべてが、このころの語彙にがあります。たとえば、a とか the・・・。



a とか the って名詞の前についてくるやつだ！この頃からあったんだね。

### アングロ・サクソン語を語源とする単語例

名詞	foot hand head leg body father mother son house door hall bread milk meat fish beer axe hammer net sun moon star ship sheep field earth wood work
代名詞	I you he it
動詞	do have make go eat bite tell speak fall
形容詞	good bad big small hot cold warm
前置詞	in on at of by for over under off I you he it from with when



ねえねえ この例にあがっている動詞は、ぜんぶ不規則変化だわ！

古英語の単語は単音節が圧倒的で、不規則変化の語が多いのが特徴です。

次に、古英語時代の後半に影響を受けたのがスカンジナビア地方などのいわゆる北欧ゲルマン系の言語(古ノルド語)です。8世紀ごろからこの島にスカンジナビア、およびデン地方に住んでいたヴァイキングが、頻繁に来襲します。主に今のデンマークあたりに住んでいたデン人(デン人)が、活発に現われ、はじめは略奪目的だったのが、そのうちに侵略した土地に住むようになりました。そして9世紀には定住をはじめ、11世紀にはデン人の王クヌートがアングロ・サクソンの王を追放しイングランド王となりました(1013年)。彼らが使っていた言語は「古ノルド(北欧語)」ですが、実は、言語的にも文化的にもアングロ・サクソン人とデン人は非常に近く、彼らの生活語がこのころ数多く流入しました。



### デン人の古ノルド語を語源とする単語例

名詞	skin sky skirt ill egg husband sister skill seat window knife leg bank birth bull
代名詞	they their them
動詞	are take get give want call die scare

こうやって、一つの言語の上に違う言語が流入した場合、一方が他方を凌駕してしまう場合もありますが、流入した借用語と本来語が両方生き残ることもあります。例えば、sick と ill は、現在は両方とも「病気の」「病気で」という意味で使います。sick は(アングロ・サクソン)古英語の seoc、ill は古ノルド語の illr に由来します。面白い例では、shirt(シャツ)と skirt(スカート)。もともと同じ語源で、ゲルマン祖語で「短い衣類」を意味する skurtjon です。これが、アングロ・サクソンでは scyrt→shirt になり、古ノルド語では skyrta となり、イングランドに流入してからシャツではなくスカートとなったのです。



クヌートの死によって、デン人の支配が終わり、再びアングロ・サクソン王が復活しますが、この後、英語にとって大きな出来事が起こります。

続きは次回に！



To be continued...